

## 国境スキー場から乗鞍岳報告 平成21年3月2日(月)

メンバー:I.O、K.O 天候:曇り時々晴れ間

コースタイム:国境スキー場 12:50 ~ 山頂(15:05-15:20) ~ 尾根の分岐 15:50 ~ ゲレンデ 16:35 ~  
駐車場 16:50

概要:前日は京都で1泊、9時半過ぎ出発、国境スキー場に12時20分頃に着いた。この山は高島トレールの起点終点でもあり、予てより一度登って滑りたいと思っていた。

ゲレンデはすでに閉鎖、スキー場の積雪はゼロ、人工雪のコースのみ雪が付いていた。第2リフト終点まで雪のないゲレンデを登る。リフト終点からは登山口を示す案内板に従って登り出す。ツボ足のトレースが残っている。登山道は、雪で垂れさがった枝がじゃまをして歩きにくい。今日は私のみミニスキーを担いで歩く。Iさんはスノーシューを担いでいる。高度700m辺りからシール及びスノーシューでの登高が可能になったが、私は頂上までツボ足で登ることにした。帰りのときにスキーがどの程度利用できるか念頭に置きながら、いい斜面がないかなぁと観察しながら登る。しかし、789mのピークを過ぎ、第4鉄塔の送電線を越えた辺りから、同じ道を引返さず、乗鞍岳を越えて周回コースを取り、727mのピークからゲレンデに向けて伸びている尾根にルートを取れば、北斜面には雪が十分残っているので、ゲレンデまでスキーで下れるのではと考え、実行することにした。山頂で休憩後、南へ一旦下り、電波塔のあるピークに登り、ここからミニスキーを付けた。そして、ここから高島トレールと分かれ、727mのピークを経て、尾根に忠実にゲレンデを目指した。雪は多くないが、雪は下まで続いており、部分的に滑降を楽しめた。沢に降りたところで、一旦スキーを脱ぎ、ゲレンデに出て、再びスキーを付け、誰もいない人工雪のゲレンデをゆっくりと楽しみながら滑った。天候は冬型に戻り、少し寒かったがそれなりに雪もゆるまず、まずまずのミニツアーを楽しむことができた。



雪のないゲレンデ



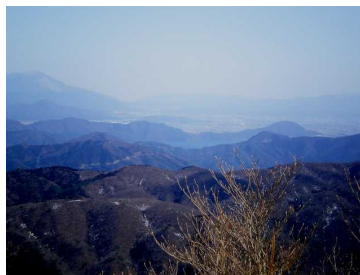
頂上近くの尾根



頂上 865.2m



頂上から電波塔を見る



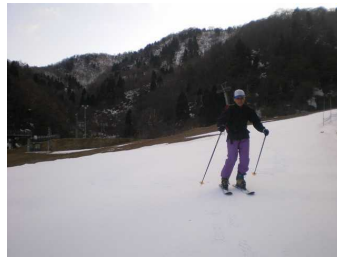
余呉湖方面



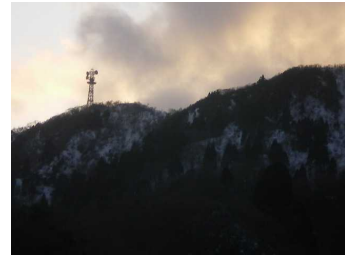
雪を選んでスキー場に向けて下る



スキー場に降りる



人工雪ゲレンデを滑る



スキー場から乗鞍岳



ホームページへ <http://allmt.hp.infoseek.co.jp/>